

千年の森便りNo.10

2004. 8. 13

ちば千年の森をつくる会

TEL&FAX: 043-432-1450

E-mail:mmanabe@h4.dion.ne.jp

けいじばん

○次回活動のご案内; **9月12日(日)** 9時45分森林館駐車場集合。主な活動メニューは景観管理林整備、観察路整備、保護植物調査・標示、島内巡回調査、8月8日木工作業の継続(案内板、テーブル・ベンチ製作)など。携行品: 鉋、鋸、あればチェーンソー、弁当、水筒など、お椀もお忘れなく。

○年内の活動予定日; **10月24日(日)**、**12月4(土)5(日)**、4日(土)は忘年会・宿泊の予定、場所は未定。

○森林セラピー実験; 7月27・28日豊英島で森林セラピー実験が実施されました。次頁総谷研究員の紹介記事参照。

かつどうのきろく

8月8日(日)晴 参加会員13名、小平顧問、一般参加1名。

案内板、テーブル、荷物置場作りの3グループに分かれ木工作業。

○案内板製作; 長村木工班長準備の豊英島の地図に文字入れなど美術作業(写真右)と2.1m高さの支柱組立て建設作業。支柱建設が終了したところで全員記念撮影(写真右下)。完成は次回の9月12日、昼の除幕式をお楽しみに。

○テーブル作り; 現在テーブルとして使用しているアカマツの半割材の下にログを組み、2枚組合せて面積を広げたが半割材2枚の高さが揃わず、高さ調整と表面加工を次回に持越し。

○荷物置場作り; 除間伐材を集め荷物置場とリュック・帽子などのハンガー作り(写真下)。ハンガーのフックには特別の工夫あり。今後荷物はテーブルを占領せずに荷物置場に。



○このほか仮植えヒラタケの本植えを行った。



長村木工班長、坂本コーチの準備・采配と参加会員の働きで、臨時活動日の木工は予想以上の成果がありました。ベテランの匠の技には脱帽の一方、女性陣の看板の文字入れ・荷棚作りや樹皮剥ぎなど地味な活躍も印象的でした。

また調理班は食材の山と格闘しお陰で昼食は仮設食卓一杯のご馳走を囲み楽しくいただきました。

炎天下の豊英島は楽しい充実の一日でした。

森林浴実験が無事に終了しました！

千葉県森林研究センター研究員 総谷 珠美

前号でご紹介させていただいた森林浴実験が、7月27日・28日の両日に行われ、無事に終了いたしました。皆様に遊歩道を整備していただいたおかげで、道に迷う被験者も出ず、スムーズに実験を行うことができました。ご協力いただき本当にありがとうございました。

これまで森林浴効果を示した実験はありましたが、効果を医学的に調べ総合的に解明するのは日本で初めてということで、マスコミからも注目を集め、7月28日の朝日新聞(夕刊)にも掲載されました。

今回の実験では、脳活動・心拍のばらつき・血圧などの生理反応や、ストレス関連物質の測定(唾液を分析)などが行われました。スタッフが約10名、被験者(男子学生)が6名での実験となりましたが、途中で発電機が止まるアクシデントを乗り越え、なんとか調査を終えることができました。

脳の活動を調べる機械は、手術の際に脳の血流状態を把握するために使用されてきたもので、野外に持ち出して測定するところから初めての試みでした。微弱な光を脳に通して測定するため、夏の強い日差しの中では測定できず、試行錯誤を繰り返して本番に臨みました。フィトンチッドの採取も行いましたので、結果が公表されましたら皆様にもお知らせしたいと思います(10月下旬を予定)。

今年の夏は記録的な猛暑で、27日は豊英島周辺でも最高気温32℃を記録しましたが「橋を渡って森林に入ると一気に涼しくなりました。」という感想をいただき、森林の快適性を再認識しました。一方、28日は“西に進む台風”の影響で少し雨に降られてしまいましたが「雨の森林も良いですね。楽しくなってきました。」という声を聞くことができました。「森林を楽しむ！」ということが、森林セラピーの根底にあるのかもしれません。これからも楽しんで里山整備を続けていきましょう！



千年の森・木工作業体験記

寄稿 岩崎寿一会員

8月8日 連日の猛暑の中 千年の森の木工作業に参加すべく、豊英島に出かけました。真夏の事ゆえ 炎天下の作業を覚悟しておりましたが、1歩豊英島に入りましたら緑陰の中、暑さの事など“ころっと”忘れて快適な一日を過ごしました。手入れされた森は本当にすばらしいと感じた次第です。

私は、テーブル作りの組に入れて頂き、長村班長から手順の説明を受けて、坂本代表を中心に作業に取り掛かりました。材は赤松の丸太、森に転がっている間伐材を切って皮を剥き、ログを組み、その上にテーブル板になる赤松の半割材を乗せて出来上がり。

この作業のミソは、丸太と丸太が合わさる所を正確に加工する事だとの指示でした。私にとって初めての経験でしたので、小石を使って丸太を止めるとか、スクライパー(コンパスに水準器が付いた道具)で曲線を写し取るなど新鮮な驚きでした。又チェーンソーですべての加工をしてしまう長村班長、坂本代表の腕前に脱帽でした。

次回の仕上げ作業が楽しみです。ご指導のほどお願い致します。

千年の森・8月8日の活動に参加して

寄稿 久我則子会員

主人が駐車場に車を置きに行く途中、一人で一足先に降りて畑の南瓜と小川と蓮を眺め道路に上がったら、道端でお茶のみしている人達に出会いました。その人達に、島でのセラピーの話のついでに鹿の親子がいたことを言ったら「悪さをして困るで、ダムに落としてくんな」と言われましたが、本当はダムを泳いで渡って来るんですよね。ダムの水位が低くなり中州が出来て釣りをしている人が下の方に見えます。

昼食は、小平先生が4時起きして釣ってご持参下さったフレッシュな魚と、真鍋さんの畑の野菜と肉のバーベキューにお新香やスイカ等々、暑いなか沢山の食材を調理して下さった鶴沢さん、吉田さんご馳走様でした。

当日の仕事は、班毎に仕事に分かれテーブル作りはチェーンソーの技の見せ所でした。荷物の置き場作りは、私を含めて3~4人、まずはY型の枝探し、鍵型のフック作りには悩みましたが、長村さんに教わり解決し馬酔木(あしび)のねばりを活かして繋ぎ合わせたフックは大好評でした。暑い中忙しかったけど、楽しいやり甲斐のある一日でした。